

まきはし

「義のための道具」

「あなたがたの五体を不義のための道具として罪に献げてはなりません。かえって、自分自身を死者の中から生かされた者として神に献げ、自分の五体を義のための道具として神に献げなさい。」

(ローマの信徒への手紙 第6章13節・新約聖書276頁)

はじめに

ホセア書において神の底知れない憐れみを見ることができました。私たちが何度も神に背き、裏切るような言動があっても、悔い改めるならば祝福し、実を結ばせてくださいます。だからこそ、私たちは新たな思いで従い続けていくべきなのです。パウロはローマの信徒に対し、そのような私たちが取るべき姿勢を教えてください。「義のための道具」として自分を神に献げていくという生き方です。

五体を献げる

五体とは頭、両手足、つまりからだ全体を指す言葉です。パウロはこの「五体」と訳されている言葉を頻繁に用いているのですが、その際、必ず「体の一部ではなく」との言葉が添えられています。尾花先生は神に対する献身は「『almost』、99%ではだめだ」と言われていました。少しでも入り込む隙を造るなら、そこに罪が入り込みます。神に用いられるのですから、私たちは、私たちの心も体もすべてを、祭壇の上に横たわるようにして委ね、献げるのです。そうするならば、神が私たちを聖なる者として聖別してくださり、用いてくださるのです。

道具して

では、どのように用いてくださるのでしょうか。「神の道具」としてです。この「道具」というギリシア語は新約聖書に6箇所しか使われていないのですが、「普段は武器と思えないものが霊的な戦いになると武器として活用されていく」、そのような意味が含まれています。それ

がみばえのしないものであっても、神は霊の戦いにおいて武器として用いてくださるということです。

士師の一人にエフドがいます。この人は「左利きのエフド」(士師3:15)と紹介されていますが、ヘブライ語本文では「右手が不自由だったエフド」となっています。そのハンディがあったことによって敵を打つことができました。神は、五体を献げるならば、義のための戦いの時に、自分が考えている欠点をも武器にして、勝利のために働かせてくださいます。だから、そのことをも神に献げるのです。

義のために

「義」のためにとあります。当然ながらこれは神の義でしかありません。つまり、神に逆らう者の力は私たちの魂をおとしめ、神から離そうとして働きます。その時、神の義が何かを知らなければ、この世の中の力に巻き込まれ、からみ取られてしまいます。それが不義の力です。なんと多くの人たちが犠牲になっているでしょう。だからこそ、神の義を明らかにするために、私たちが召され、私たちのすべてが、長所も短所もすべてひっくるめて、義のための武器として用いられていくのです。その力は、罪に打ち勝って復活した主イエスを信じる信仰からきます。私たちは復活の命に生かされ、自分のすべてを献げて、義のために証しし、戦っていくのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「このように、あなたがたも、自分は罪に対しては死んだ者であり、神に対してはキリスト・イエスにあって生きている者だと考えなさい。ですから、あなたがたの死ぬべき体を罪に支配させて、体の欲望に従うようなことがあってはなりません。また、あなたがたの五体を不義のための道具として罪に献げてはなりません。かえって、自分自身を死者の中から生かされた者として神に献げ、自分の五体を義のための道具として神に献げなさい。」(ローマの信徒への手紙 6:11～13)



神さま、私は私の罪を贖い、十字架に死んでくださり、陰府の力に勝って復活された主イエスを信じます。私のその復活の力をいただいている者として、自分のすべての存在をあなたに献げます。中途半端ではなく、自分が欠点と思うようなことも、神さまは武器として使ってくださいることを信じ、すべてを委ねて献げます。この世には不義が満ちあふれ、だれも正しいことが分らず、罪の力に支配されていますから、神さまの義を明らかにするために、どうぞ私を用いてください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (104) 第5章7節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「子らよ、今こそ、私に聞け。私の口の言葉から離れるな。」

◎口語訳 「子供らよ、今わたしの言うことを聞け、わたしの口の言葉から、離れ去ってはならない。」

◎新改訳 「子どもらよ。今、私に聞け。私の言うことばから離れるな。」

「今こそ」

ここまで子どもたちを前に話していた父は、「今こそ」と、強調しています。この「よその女」に関わるような事件があったのでしょうか。

毎日生活をしていると、家族のそれとない仕草の変化にも気付きます。何かうかない顔をしているが困ったことでもあるのだろうか、最近やたらと着るものにこだわるようになったなあ、なにかこそこそして落ち着きがないけど、隠し事でもあるのかな、などですが、「父」も、子どもの様子で「よその女」、つまり、道にそれかかっているのではないかとの差し迫った危険を感じたのかもしれませんが。だから、「今、聞け」と言ったように思います。

そのことを考えてもう一度この章を見て見ると、すでに「よその女」に心が傾きかけている、あるいはそうなるような気配を悟って、その状況を前提に語っているようにも思います。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

この「今」は時間的な意味よりも、転機を促す言葉で、今、行動を起こさなければ失敗するぞというタイミングであり、人生の分岐点と言ってもいいような場面で使います。カインがアベルを殺したときの「今やあなたは呪われている」(4:11) やアブラハムがイサクを献げようとして止められた場面でも「神を畏れる者であることが今、分かった」(創世記 22:12) といった具合です。

予備校の先生の「いつやるの? 今でしょ」との言い方がはやった時期がありましたが、信仰も「今」が大切なのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第18編3節「主はわが岩、わが城、私を救う方 わが神、わが大岩、私はそこに逃れる。わが盾、わが救いの角、わが砦。」◆横山姉のご主人が臨終の床にあって、右手を私に、左手を横山姉に持って高く上げるように言うので、その通りにした。すると、この詩編の聖句声を絞り出すように朗唱し始めたのだ。私は、これは最初で最後の横山兄の証し、信仰告白だと受けとめた。今も私の心に深く残っている。私たちは神をどのように告白するだろうか。どのような賛美の言葉をささげられるだろうか。言葉に出してみようではないか。

●賛美 / 157 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第19編6節「太陽は花婿のように祝いの部屋を出て 勇者のように喜び勇んで道を駆け抜ける。」◆太陽の動きや働きを見ながら、神の創造のわざをほめたたえている部分だが、それだけではなく、神の恵みが全世界のすべての人にいき渡り、また例外なくすべての人がその恩恵を受けていることを教えている。それは強い者も弱い者も、また悪人にも善人にも同じように注がれている。それは、言い方を変えるなら、すべての人に神が必要であり、神の存在がなければ死んでしまうということだ。神の「熱」を感じつつ歩もう。

●賛美 / 158 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第20編8節「ある者は戦車を、ある者は馬を誇る。しかし私たちは我らの神、主の名を誇る。」◆パウロは誇るべき経歴を持っていた。エリートと言って良い。ところが、彼が主イエスを信じた時、そのすべての経歴を「全く価値のないもの」といって投げ捨てた。私たちは「誇るものは何もない」といしながら、高ぶってははいないだろうか。誇るべき主の御名なのに、隠してしまい、誇ることをしていない、ということもある。私たちの主の名は私たち、情けない罪人をお救いくださった、その名である。主の御名を誇る者となろう。

●賛美 / 159 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第21編8節「王は主に信頼しいと高き方の慈しみにより、揺らぐことはない。」◆王とはダビデを指している。ダビデは主に信頼し、その道を歩んだので、彼の位は揺るがず、王国は祝福された。彼の血筋は保たれ、続いていったが、それら子孫の多くの王たちはダビデのように歩めなかった。なぜか。高ぶったからである。私たちがまた、一国一城の主である。「私」という国の王であるならば、ダビデのように、その王座を明け渡し、主に座っていただき、主の前にへりくだるべきである。それこそが信頼を表す姿勢である。

●賛美／160 ●祈禱課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第22編2節「わが神、わが神 なぜ私をお見捨てになったのか。私の悲嘆の言葉は救いから遠い。」◆この詩編を最後まで、そして主イエスの十字架を思い描きながら読んでいただきたい。すると、福音書を読んでいるかのように、十字架の情景が浮かび上がってくる。ダビデは約1000前に、この詩を通して救い主の受難を預言していたことになる。主イエスは当然、この詩をご存じで、十字架にかかれた時、この詩が実現したことを告げるために朗唱された。それは冒頭の言葉しか記されていないが、31節を見れば勝利の宣言であったことがわかる。

●賛美／161 ●祈禱課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆高齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第23編6節「命あるかぎり 恵みと慈しみが私を追う。私は主の家に住もう 日の続くかぎり。」◆羊飼いである主は、私たちが常に満足させてくださる。私たちに力を与え、生きる道を示してくださる。何よりも、「共に」いてくださることが、私たちにとって最も重要である。共におられるからこそ、主の養いの中に生かされるからだ。そしてそれは、私の生きている限り続く。いや、日の続く限り、永遠に主の宮に住むことができるようにしてくださる。それまで私たちは恵みと慈しみを覚えながら歩めるのだ。

●賛美／162 ●祈禱課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第24編3節「誰が主の山に上り 誰がその聖所に立つのか。」◆ダビデの詩なので、主の山に登るとは、おそらくエルサレムがあるシオンの山だと推測できる。ダビデが王となった時、契約の箱をシオンへと運ぼうとした。ところが、ウザが打たれてしまう。ウザはオベド・エドム家で、長らくこの契約の箱を見ていた（サムエル下6）。神聖である神の箱に対して心の準備をせず、荷物を担ぐように箱に近づいた可能性が高く、聖俗のわきまもなく扱ったことで、わざわざを招いたと考える。聖所である主の山（礼拝）に上るとき、ふさわしい備えをしたい。

●賛美／163 ●祈禱課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 16:13～20】

「あなたは すくいぬしです」

(マタイ16:16)

イエスさまが いろいろなところで おはなしをし、きせきをおこしていたことで、イエスさまの にんきが たかくなりました。でしたちは、みんなから そんけいされている イエスさまと いっしょに いることが ほこりになっていました。

でも、イエスさまは でしたちの そんな きもちを して、でしたちに テストをするため フィリポ・カイサリアという まちに でかけました。そこには ヘルモンざん というやまに ふった あめやゆきが いずみになって わきで てくる ばしょがあり、みずが たいせつだった こともあって、「みず」をかみさまとして おが む しんでんもありました。

イエスさまは でしたちに ききました。「みんなは わたしのことを どうおもっているの でしょう」。でしたちは「バプテスマの ヨハネだ

と いうひとが います」「よげんしゃエリヤだ というひと いますよ」「エレミヤというひと も」「『モーセが いたった よげんしゃのひとり』 なんだと いうひと います」。みんな わりこむようにして、ほうこくを しました。

すると イエスさまは いいました。「それなら ば きくけれど、あなたたちは わたしを どうおもっているの?」。きゅうに シーンとなりました。でしたちは、そのように きかれて、どうこたえて いいか わからなかったのです。イエスさまを そんけいしているけれど、どのような おかたなのか、はっきり いえなかったのです。

そんなとき、ペトロが いいました。「あなたは すくいぬし いくている かみ(のこ)です」。「そのとおりだ」。イエスさまは、ペトロを ほめました。そして いいました。「その こくはくをしたひとたちが あつまるところが きょうかい になります。そして、わたしは そのひとたち、きょうかいを しゆくふくし、てんごくのかぎを さずけます」。

●かんがえてみよう

☆イエスさまは でしたちに なんと ききました。(マタイ 16:13)

☆でしたちは、どのような ほうこくを していますか。(マタイ 16:14)

☆ペトロは イエスさまを どのように おもっていると いいましたか。(マタイ 16:16)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

いけるかみのことであ

	る							
		けい						
の		です		こ			い	
い		こ				か		
す	か	る	け	の				
み	こ	の	る	か	で			け
か	の	み		で	こ		い	る
け	い	す	か	る	の	で		
			み		け	す	の	

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① にくのぎんかので
- ② うえいわの
- ③ よみものん
- ④ うかいきよ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「土葬」

日本も昔は土葬でしたが、戦後、公衆衛生などの関係で法的な規準が定められ、火葬が進んでいきました。今ではほぼ100%火葬で、これは世界でも珍しいようです。浄土真宗などは親鸞が火葬だったので、北陸など、信徒の多い地域では火葬が当たり前だった所もあります。少し前に、韓国でも火葬を協力に推し進め始めたのですが、これは「埋める場所」が足りなくなったことが背景にあります。衛生面と場所、これが火葬となった要因でしょう。

ただ、事務的な問題で納得できるなら良いのですが、これが宗教に絡むと大変です。イスラム教は死後の復活を信じているのですが、肉体がないと復活できないことになっているので、絶対に火葬しません。事故で焼死してしまった場合には、特別にアッラーが復活できるようにしてくれるみたいなのですが、人為的な火葬はアウトです。最近では日本に住むイスラム教徒が増え、そのためイスラムの信徒たちは墓探しに苦労しています。その窮状を知ったお寺が、土葬できるスペースを確保し、墓所を提供しても、近所から「衛生面に問題がある」と訴えられるといった問題も各地で起こっています。インドネシアなど、イスラム教国から労働力として入ってくるので、これからますます大変なことになるでしょう。

聖書ふれあい街歩き

●マガダン地方

旧約聖書の場合、かなり広域でもあることから地名が出てきても特定できない場所が多くあります。新約聖書の場合はほぼパレスチナ地方に限られるので、絞りやすくはなりますが、ただ、それでも断定しにくい場所があります。マタイの福音書に出てくる「マガダン地方」もその一つです。

おそらくガリラヤ湖西岸地域であるのですが、ほかの箇所にも登場せず、それ以上のことはわかりません。ただ、マタイ 15章 39節の並行記事であるマルコの福音書 8章 10節では、「ダルマヌタ地方」となっています。マタイはユダヤ人に対して、マルコはローマ人を意識して書かれたと思われるので、地元で呼び方が「マガダン」、支配者であるローマの呼び方では「ダルマヌタ」であったのかも知れません。いずれにせよ、違う呼び方が複数あったと考えられ、そうなるとよけいにわからなくなります。

「マガダン」は写本によっては「マグダラ」となっているものもあるようで、そうすると、あのマグダラのマリアの出身地とみてもおかしくありません。ガリラヤ湖は主イエスが約3年にわたって巡り歩いた場所ですが、考えてみると地名があまり記されていませんね。

ななめ聖書 先週のこたえ

み	を	の	あ	ず	う	く	え
え	ず	あ	み	う	く	を	の
く	う	の	え	る	を	み	あ
う	く	を	ず	の	え	る	み
あ	る	ず	く	み	う	え	を
の	み	え	る	を	あ	ず	う
を	の	う	あ	ず	る	く	え
ず	あ	く	う	え	み	の	る
る	え	み	を	く	の	あ	ず
う							

- ①すたでいおん
- ②むこうぎし
- ③さけびごえ
- ④ゆうれい



パウロの弁明

「パウロの話をここまで聞いていた人々は、声を張り上げて言った。『こんな男は、地上から除いてしまえ。生かしてはおけない。』彼らがわめき立てて上着を投げつけ、砂埃を空中にまき散らすほどだったので、大隊長はパウロを兵営に入れるように命じ、人々がどうしてこれほどパウロに対してわめき立てるのかを知るため、鞭で打って取り調べるように言いつけた。

パウロに鞭を当てようとその手足を広げたとき、パウロはそばに立っていた百人隊長に言った。『ローマ市民を、裁判にかけずに鞭で打つてもよいのですか。』これを聞いた百人隊長は、大隊長のところへ行行って報告した。『どうなさいますか。あの男はローマ市民です。』大隊長はパウロのところに来て言った。『あなたはローマ市民なのか。私に言いなさい。』パウロは、『そうです』と言った。」(使徒言行録22:22~27)



ローマ市民権権利証

【乱暴な取り調べ】

大隊長はパウロが凶悪犯ではないと知りながら、なぜ「鞭で打って取り調べるように」と命じたのでしょうか。

理由の第一は、真相を短時間で知り、この場を収めたいと思っていたからだと考えられます。そのために、普段から使っている方法を用いたのでしょう。とにかく治安が維持されなければ自分の責任となります。エジプト人ではないとしても、危険な思想の持ち主かも知れません。こんなところにローマ人の残虐性が表れています。

【ローマ市民権】

ところが、鞭を入れようとするパウロが「私はローマ市民だ」と言います。ローマの法律で、ローマ市民に対する拷問は原則禁止、特に裁判前の鞭打ちは違法でした。そのため大隊長は「まずい」と思い、あわただしく取り調べをやめさせたのでした。

しかしなぜパウロは窮地に陥る前に「ローマ市民権」であることを告げなかったのでしょうか。ぎりぎりまで身分を明かさなかったのは、自分がローマに属する者ではなく、ユダヤ人なのだとアピールしたかったからです。水戸黄門もそうです。最初から明らかにすれば危機的な状況に陥らないで済むのですが、それではこの真相が分かりません。ここでギリギリまで身分を明かさないのでした。

このローマ市民権、かなりの特権階級でした。しかも法律で保証されている身分、つまりローマという国に守られているので、当時世界最強だったローマの力を身に帯びているようなものでした。まず身体の自由の保障が約束されていまし

た。これはローマ市民の最大の特権です。取り調べの際のむち打ちや拷問、裁判を受けないで処罰を受けることなどは禁止で、「ローマ市民を裁判もせずに鞭打つのですか」との問いかけは、二重、三重の法律違反。ですから、兵士たちは一斉に手を引いたのです。

次に、ローマ市民は単なる国家に属する人民ではなく、ローマ国家の構成員と見なされていました。そのため法的な取り扱いを請求できたのでした。パウロが行っているように、処罰されるためには正式な裁判手続きが必要であること、弁明の機会が与えられること、そして公開の場で審理されることなど、法的に人として扱われました。

ローマの市民権を持っている者は少なく、取得方法は主に「ローマ人として生まれる」、「ローマに対する功績が認められる」、「仲介してもらい、高額で買う」がありました。大隊長はどこかの属州出身だったのでしょうか。市民権がなく、大隊長に上り詰めるまで苦労したはずです。しかし機会を得て「多額の金を出してこの市民権を得た」(22:28)のでした。パウロが「生まれながらの市民」だったことは知るよしもありません。とにかくローマ市民の権利を認め、鞭打ちを中止させ、裁判を受けさせるために計らったのでした。

買うことができるようになったのは、クラウディウス帝の時代(使徒11:28、18:2・41~54在位)からとされ、大隊長もこの時代に買ったのでしょうか。一説には数千万円ともされていて、普通の兵士の年収が300万ほどですから、借金をして払った可能性もあります。ただ、それだけの価値がある待遇で、パウロがそれを持っていたことは、神の選びの布石でもあったのです。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

